

補正
予算

被災の予防に対応

質
疑

一般会計補正の主なもの

町道維持補修費	2115万円
一本松線、坂下平田中山線等の維持補修工事等の追加計上。	
移住定住支援交付金	210万円
事業実績見込み等による追加計上。	
すまいる住まい！若者定住サポート事業	880万円
事業実績見込み等による追加計上。	
放課後児童健全育成事業	732万円
放課後児童クラブの児童数やクラブ数の増加等による事業費の調整。	
日本の紅(あか)をつくる町推進事業費補助金	50万円
「藍と紅」の交流、コラボレーション商品開発プロジェクト経費。	
除雪車整備事業	239万円
県の払い下げを受け、除雪ドーザーを購入。	
小中学校冷房設備調査委託料	100万円
整備規模や概算事業費の把握のための調査。	
道路河川災害復旧事業費	550万円
過年度の豪雨被害を受けた唐松沢の復旧。	
病院費（経営基盤強化費）	5000万円
病院事業会計の経営状況等を勘案した繰出しの対応。（累計2億5000万円）	
	など
◎ 財源は国、県支出金、繰越金などで対応します。	

質疑

町道維持補修の内容は

委員 坂下平田中山線の維持補修工事の内容は。

当局 集中的に雨水が集まる場所があり、いずれ道路にも影響が出るような状況。早急な対応が必要であり、雨水の処理を行うため、水路等を敷設するもの。

委員 同様の場所は多いと思うが、随時対応していく考えか。

当局 状況により地域との協議が必要な所もあるが、出来るところは早急に対応していきたい。

移住・定住支援の内容は

委員 移住・定住支援交付金の内容は、交付される金額は。

当局 町外から転入する若者世帯に対する支援。申請時に夫婦のどちらか一方が45歳未満であることなどの要件がある。

基本額10万円を交付するほか、中学生以下の子ども2人までは、10万円を交付。3人目からは、1人につき5万円を交付。

早急な道路の維持補修工事により、安全な対策を。



路面崩壊の坂下平田中山線

平成30年度補正予算総括表		
会計項目	補正額	補正後の額
一般会計	1億6999万円	86億7020万円
特別会計	下水道	200万円 / 6億1804万円
	国民健康保険	2927万円 / 16億1475万円
	介護保険	3060万円 / 17億2994万円
事業会計	水道 資本的支出	97万円 / 1億4917万円
	病院 収益的支出	81万円 / 11億6268万円
	病院 資本的支出	444万円 / 1億6050万円

※万円未満は端数を調整しています。